


国土交通省 | 天竜川上流河川事務所



DATE: 平成29年6月14日

国土交通省 天竜川上流河川事務所

- 件名** 大鹿小学校の生徒を対象に砂防工事の現場見学会を実施しました
- 概要** 天竜川上流の支川は、我が国でも有数の急流河川であり、これまでも大量の土砂を流出し、伊那谷周辺では「三六災害」をはじめとして、土砂災害が発生してきました。
そのため、当事務所では、常日頃より土砂災害による被害の防止、防災知識の普及、警戒避難体制の整備を推進しています。
6月14日に別紙の通り「砂防現場見学会」を実施しましたので、情報提供いたします。
- 資料** 資料1：大鹿小見学会詳細行程表
資料2：実施状況
※写真等のデータについては、ご連絡いただければ提供いたします。
- 解禁** 指定なし
- 同時配布** このお知らせは、飯田市役所記者クラブに配布しています。
- 問合せ先** 国土交通省 中部地方整備局 天竜川上流河川事務所
小渋川砂防出張所長 岡本 明
TEL：0265-39-2301
携帯：090-2644-1883

着	発	場所	行動	目的	備考
—	9:00	大鹿小学校	・出発		
9:05	9:40	砂防ステーション	・挨拶・事業説明:5分 ・ビデオ学習:10分 ・模型を使った説明:5分 ・トイレ等:5分	・「砂防ってなに？」を使用し、砂防事業の概略を理解してもらう ・昭和36年の災害で、大鹿村がどのような被害を受けたかを学ぶ	
9:50	11:55	塩川床固工群事業	・事業・工事概要説明:15分 ・工事従事者の話:10分 ・現場体験(※1):70分	・工事現場の見学を通じて、実際に何が行われているのかを知ってもらう ・工事従事者に仕事の魅力、やりがいについて話を聞く。 ・普段関わる機会のない「現場内で行われているコト、モノ」へ直に触れ、体感してもらう 【重機に乗ってみよう】 【測量をしてみよう】 【鉄筋と鉄筋を結んでみよう】	
			・説明:5分 ・ドローンによる塩川周辺の映像:10分	・ドローンによる周辺の映像を見る。 ・最新の技術活用状況を知ってもらう。	
			・魚放流、記念撮影:10分 ・焼き物用の砂採取:5分	・魚の放流を通じて自然の大切さを感じ取ってもらう	
12:05	—	大鹿小学校	・到着		

※1 現場体験について

【重機に乗ってみよう】

- ・土砂を掘る、均す、盛る、削るなど、非常に多くの場面で活躍する重機である「バックホウ」に搭乗して頂きます。
- ・見て、触れて、動かすことで重機のスケールを体感すると共に、用途に合わせて様々な機能を使い分けている事を知ることができます。
- ・搭乗写真が撮れる時間を可能な限り確保します。



【測量をしてみよう】

- ・現場では構造物の長さや高さをどのように測っているのか理解するため、実際に現場で使用している「光波計」という機器を使って距離と高さを計測します。
- ・測量結果の精度を確認できるよう、あらかじめ正解を用意しておき、結果と比較します。
- ・作業と役割を分担し協力することで連帯感や達成感を共有しつつ、標高の概念を感覚的に学ぶことができます。



【鉄筋と鉄筋を結んでみよう】

- ・今回の現場では、鉄筋コンクリート構造物を施工しており、加工した鉄筋を配置する作業をしています。
- ・鉄筋は等間隔に配置し、その鉄筋間隔がずれないように細い針金で鉄筋と鉄筋を結びます。それを体験してもらい、作業の必要性を理解してもらいます。

※ 写真等のデータについては、ご連絡いただければ提供いたします。

資料-2



36災の学習



土石流模型実験



測量体験



重機体験



鉄筋結束体験



魚の放流